

調布飛行場の現状と課題

- 国から引き継いだ、飛行場管理事務所・管制塔(タワー)等の老朽化(築40年超)への対応が必要
- 都営空港化から30年が経過する中で、調布飛行場を取り巻く社会情勢等は大きく変化
 - ➔ 離島航空路線を維持した上で、老朽化した施設を建替える機会を捉えて、調布飛行場整備方針・整備基本計画(平成8年度策定)に基づく今後の調布飛行場に**求められる役割**を改めて把握・整理し、着実に果たしていくことが重要

調布飛行場に求められる役割(想定事例)



調布飛行場の整備の方針を検討し、
地域に親しまれる要素を含んだ、**調布飛行場の将来像**を示す

調布飛行場の整備に係る検討について(2/3)

- 老朽化への対応と、今後の調布飛行場に求められる役割とその実現に向けた取組を検討するため、学識経験者等を委員とする検討会を設置

整備検討会の委員

学識経験者(3名)

- 空港計画：日本大学 理工学部長 轟教授【委員長】
- 地域計画：中央大学 理工学部 三浦准教授
- 法律：西村あさひ法律事務所外国法共同事業 野本弁護士

行政委員(3名)

- 総務局 多摩島しょ振興担当部長
(四者協幹事会 幹事)
- 都市整備局 多摩まちづくり政策部長
(四者協幹事会 幹事長)
- 港湾局 島しょ・小笠原空港整備担当部長
(都営空港所管部署)

オブザーバー(6名)

- 調布市 行政経営部企画経営課長(四者協課長会構成員)
- 三鷹市 企画部企画経営課長(同)
- 府中市 政策経営部政策課長(同)
- 総務局 総合防災部 防災計画課長
- 都市整備局 都市基盤部 航空政策担当課長
- 環境局 気候変動対策部 計画課長

調布飛行場の整備に係る検討について(3/3)

検討会の流れ

回数	議事
第1回 (R6.11.7)	<ul style="list-style-type: none">調布飛行場の沿革と現在の状況空港と立地地域の共生に関する参考事例各委員からの発表議論の進め方・方向性(関係者意向聴取の進め方など)
(この間、インタビュー形式での調布飛行場関係者に対する意向聴取を実施)	
第2回 (R7.1予定)	<ul style="list-style-type: none">調布飛行場関係者の意向求められる役割と必要な機能整備後の利用ルール
第3回 (R7.3予定)	<ul style="list-style-type: none">委員会提言(案)の取りまとめ
第4回 (R7.5予定)	<ul style="list-style-type: none">委員会提言の取りまとめ